

社会で活躍するために必要となる能力 ～1年生総合的な学習の時間～

社会人として職場や地域社会で活躍する上で必要となる能力を、高校生活3年間をとおして身に付けていかなければなりません。

卒業後には、自立した18歳として、いろいろな組織や地域社会の中で、立場や考え方、世代の異なる人たちと一緒に協力しながら学んだり、働いたりすることが求められます。

氷上西高校では、国語、数学、社会、理科、英語等の各教科の学習のみならず、総合的な学習の時間や特別活動、学校行事、部活動、地域交流、ボランティア活動等のいろいろな場面を設定することで、多様な学びの機会をとおして、教科の基礎学力とともに社会で活躍するために必要な力の育成に力を入れています。

1年生の総合的な学習の時間では、経済産業省が提唱している「社会人基礎力」について考え、今の自分に必要だと思う能力は何か、なぜそう思うのかを小グループに分かれて意見交換しました。その後クラス全体に向けて、各班の代表が明確かつ論理的に意見を発表することができました。1年生の、これからの学校生活での活躍が楽しみです。

社会で活躍する上で必要となる12の能力について考えてみてください。

(校長 高橋信之)

自分には、次のような力が、◎ ある ○ どちらかと言えばある △ あまりない × ない ↓

	12の能力	内容	◎○ △×
前に踏み出す力	1 主体性	物事に進んで取り組む力	
	2 働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	
	3 実行力	目的を設定し確実に行動する力	
考え抜く力	4 課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	
	5 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	
	6 創造力	新しい価値を生み出す力	
チームで働く力	7 発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	
	8 傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	
	9 柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	
	10 状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	
	11 規律性	社会のルールや人との約束を守る力	
	12 ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力	